



室小だより

茅ヶ崎市立室田小学校
令和4年 冬休み号
校長 作道 亜貴子



1年を振り返って



冬休みに入る1週間前より新型コロナウイルス感染症が、市教育委員会の通知でお知らせしたようにレベル2に引き上げられ、第八波の到来を実感しています。そのような状況下、2022年も終わろうとしています。

年々1年が過ぎ去るスピードが速まっている気がするのは年齢のせい？と悲しい問いかけを自分自身にしています。今年もあっという間でした。保護者の皆様には、日頃から様々なご協力をいただき、本当にありがとうございました。授業参観、懇談会、運動会等、最近では、寒い中での個別面談もご来校いただき、ありがとうございました。地域の皆様にも雨の日も風の日も、児童の見守り、声掛けをしていただき、大変感謝しております。今年を振り返ると、「戦」の字が今年の漢字になるなど、世界的には納得できない、心を痛める出来事が続いています。一方、サッカーワールドカップでの日本の選手の活躍には目を見張るものがありました。今の若者だからこそそのたくましさを感じました。「新しい景色を見る」ことについて、考えさせられました。私としては、小学生の存在そのものに没頭した1年でした。小さな体に詰め込まれたあふれんばかりの様々な思いにその都度、心を動かされます。その思いを丁寧に受け止め、対応できる教師でありたいと改めて感じます。どうか健やかに、たくましく、と願わずにはられません。引き続き来年もご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

5年生愛川ふれあいの村キャンプ、無事に終了



11月30日・12月1日の1泊2日で、5年生は愛川ふれあいの村でのキャンプを実施しました。到着後、村内を巡りながらの木ラリー、お昼ごはんを食べて宿泊する各ロッジへ。そして、最もチームワークが必要な夕食づくり。薪に火をつけ、火力を調整しながら炊飯。1人ひとりの役割を果たして、どのグループも上手にご飯が炊き上がり、かまどで沸かしたお湯で温めたレトルトカレーをかけて食べました。おいしかったです。

キャンプファイヤーはゲーム・歌やダンスで大いに盛り上がり、楽しい思い出ができました。

小出小学校と交流、湘南台文化センター遠足～松の実教室～

12月14日、松の実教室単独で小出小学校のむくろじ級との交流も兼ねて、湘南台文化センターへ遠足に行ってきました。1年生は今年度2回目の湘南台文化センターとなりましたが、前回と違った新たな発見をして楽しんでいました。小出小学校の子どもたちとはお互いにご挨拶をして、楽しく交流できました。



校内では2週間にわたり、「室田みんなの学び展示ウィーク」が行われました。子どもたちが各クラスの掲示物を見ながらコメントを加え、交流しました。年が明けると一気に正月モードに変わります。季節の移り変わりを敏感に感じられることはとても素敵なことですね。